

～ 海野町にぎわいまちづくり事業 ～

50年以上続く「信州上田七夕まつり」に地元高校生らが制作から飾り付けまで参加。夜間のライトアップや映像上映とともにイベントに新風を吹き込んだ。若手の登用・外部団体との連携を進め、地域を巻き込んだにぎわいのあるまちづくりの推進につながった。

所在地：長野県上田市中央2-10-13
TEL：0268-22-9301 FAX：0268-23-7580
URL：<http://www.unnomachi.jp/>
組合員数：62名
商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

海野町商店街振興組合は、上田駅から徒歩で10分。市役所や、真田氏で有名な上田城の城址公園に程近い中心市街地にある。「日本で2番目にスタートした」と言われる歩行者天国や、昭和31年より続く「七夕まつり」等のイベントを通じ、長く地域住民に親しまれてきた。しかし近年は、商店街内の大型店舗の移転やスーパーの閉店、店主の高齢化による空き店舗の増加、周辺地域への商業施設の進出等でお客様の流れが変わりつつあり、来街を促すための取組みが課題となっている。



実施した事業の概要

上田七夕まつり（平成26年8月6日～8日開催）

商店街の「七夕まつり」は、旧暦の七夕にあたる8月に、東西300mの商店街を歩行者天国とし、店頭に趣向を凝らした手作りの七夕飾りを華やかに掲げるイベント。回数を重ねて地域に密着した祭りとなっており、毎年楽しみにしている住民も数多い。しかし、参加店は減少傾向にあり、マンネリ化を防ぐための新規企画の導入も商店街だけの着想では限界を感じていた。本事業では、従前から七夕飾りの制作に参加していた地元幼稚園や保育園に加え、高校の美術部にも参加を依頼し、七夕飾りの制作だけでなく設置まで担当してもらった。



また、従来は役員中心の企画・運営であったが、今回の事業では青年部が中核となり、教育機関や地元放送局等との連携を実現。地域全体で賑わいのある街づくりへの取組みを行った。

さらに、新企画として「夜の七夕まつり」を実施。七夕飾りのライトアップ、園児による飾り付けの製作風景や花火大会の映像を上映する「七夕ナイトシアター」を行い、これまでにない七夕まつりとする事ができた。

成果と成功の要因

高校生の七夕飾り制作など多くの話題を提供できたことで、地元紙や地元TVでの紹介につながり、イベント開催3日間の集客は延べ4万人となった。地域住民を巻き込んだイベントの成功で認知度が上がり、事業実施後の歩行者通行量は、実施前に比べ平日で2.3%、休日3.3%の増加となった。また空き店舗への出店の問い合わせも3件あり、商店街への注目度が高まった。

今回の事業が成功した大きな要因は、商店街の内部・外部双方から若く新しい視点を取り入れ、商店街活動に新風を吹き込めたことが大きい。チラシ等の広報媒体での人集めだけでなく、イベントに参加した保育園児・幼稚園児・高校生とその家族にも来街してもらえするなど、商店街の地域密着の姿勢を見直して頂ける機会となった。また今後の商店街組織の世代交代にもつなげて行けるものと考えている。

今後の取り組み

今回の事業が住民や外部団体を巻き込んだ参加型イベントとしたことで、商店街の様々な取組みを知ってもらう絶好の機会となった。これを機に、イベント・企画担当の若返り化や、今回構築できた外部ネットワークの活用などを通じて、地元住民の声を取り入れた参加型事業を継続し、賑わいある街づくりを進めることとしている。また平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台が上田となったことから、今後も新たな観光客の流入が期待できる。商店街としてもこれらの層への積極的な情報発信が重要と考えている。